



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 日本パーカライジング株式会社
 コード番号 4095 URL <http://www.parker.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 里見 多一
 (氏名) 田村 裕保

TEL 03-3278-4333

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	71,357	8.1	11,465	14.9	13,359	17.6	7,859	22.7
25年3月期第3四半期	66,033	10.1	9,981	14.8	11,356	16.7	6,405	34.3

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 15,023百万円 (98.7%) 25年3月期第3四半期 7,561百万円 (140.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	126.85	—
25年3月期第3四半期	103.37	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	164,610	113,973	58.0	1,542.15
25年3月期	146,739	100,737	57.7	1,366.75

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 95,544百万円 25年3月期 84,686百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	15.00	25.00
26年3月期	—	12.50	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	98,000	9.0	15,000	14.1	17,200	13.3	9,500	12.2	153.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) パーカー表面処理技術(上海)有限公司、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	66,302,262 株	25年3月期	66,302,262 株
26年3月期3Q	4,346,730 株	25年3月期	4,339,909 株
26年3月期3Q	61,959,899 株	25年3月期3Q	61,964,731 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信(添付資料)4ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
4. 補足情報	12
(1) 四半期毎の業績の推移(連結)	12
(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報	13
(3) 四半期毎の業績の推移(提出会社個別)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）における世界経済は、過剰投資に悩む中国経済には停滞感が感じられるものの、米国では消費回復に伴い景気が上向きになるとともに、欧州でも債務問題による最悪期を抜け、プラス成長の様相となってまいりました。一方、国内経済は円安や景気対策の効果が实体经济にも波及し始めており、企業収益の拡大とともに消費も改善するなど回復基調で推移しております。

当社グループを取り巻く事業環境も、主要な供給先であります自動車業界では、円安による競争力の向上に加え、消費税増税前の駆け込み需要もあり生産が増加傾向となっております。しかしながら地産地消による海外生産シフトの流れに変わりはなく、高品質、低コストの要求は厳しさを増しております。また、鉄鋼業界も海外メーカーとの競争激化や企業再編成などもあり、コストダウンの要求は強く、厳しい状況が続いております。

このような厳しい経済環境において当社グループでは、拡大する海外市場の需要を着実に捉えるため、新規顧客の開拓やユーザーニーズにマッチした新技術の提供に努めるとともに、中国、ASEAN 地域を中心に生産設備の増強を図るなど、海外事業の強化を進めてまいりました。また、技術立社として将来を見据えた、新たな技術の創出を目指し、研究開発活動にも注力してまいりました。さらにはグループの連携強化による新市場の開発や原材料調達効率化によるコスト削減などにも積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の連結業績は次のようになりました。

【連結決算の概況】

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
当第3四半期累計期間 (平成26年3月期)	71,357	11,465	13,359	7,859
前第3四半期累計期間 (平成25年3月期)	66,033	9,981	11,356	6,405
増減金額	5,323	1,484	2,002	1,454
増減率	8.1%	14.9%	17.6%	22.7%

売上高は71,357百万円と前年同四半期に比べ5,323百万円(8.1%)の増収となりました。第2四半期累計期間間で減収で推移しておりました国内売上高が増収に転じるとともに、円安メリットを受けた海外売上高が大きく増収となりました。四半期毎の売上高は、第1四半期会計期間が21,069百万円、第2四半期会計期間が25,291百万円、第3四半期会計期間が24,997百万円で推移しております。事業の種類別セグメント毎の売上高は、薬品事業が前年同四半期に比べ9.6%、装置事業が9.9%、加工事業が5.3%、その他が8.7%とそれぞれの事業が増収で推移し、所在地別セグメント毎の売上高は、国内売上高は1.2%、アジア地域が23.1%、欧米地域が22.6%とそれぞれ増収で推移しております。(事業の種類別セグメント及び所在地別セグメントの増減率は外部顧客売上高を基礎にしております)

営業利益は11,465百万円と前年同四半期に比べ1,484百万円(14.9%)の増益となり、前期は後半が低迷したことから増益幅は第2四半期累計期間に比べ増加いたしました。また、現段階において過去最高益の平成20年3月期の水準を上回って推移しております。売上総利益は27,246百万円と前年同四半期に比べ2,630百万円(10.7%)の増益となり、**販売費及び一般管理費**は15,780百万円と前年同四半期に比べ1,145百万円(7.8%)増加いたしました。その内訳は人件費が5.8%、経費が11.0%の増加であります。

経常利益は13,359百万円と前年同四半期に比べ2,002百万円(17.6%)の増益となりました。**営業外の収支**は1,893百万円の収入となり、前年同四半期に比べ518百万円増加いたしました。主な要因は為替差損益の改善と持分法による投資利益、受取配当金の増加によるものです。この結果、当第3四半期累計期間の**総資産経常利益率**(ROA)は8.6%(年換算11.5%)と前年同四半期に比べ0.2%増加いたしました。

四半期純利益は7,859百万円と前年同四半期に比べ1,454百万円(22.7%)の増益となりました。主な特別損益といたしましては、借地権等の売却に伴い固定資産売却益424百万円が計上されました。

【為替の影響額】

当期の為替換算レートは、前年同四半期に比べ全般的に大きく円安にシフトしております。この為替レートの変動により、売上高で4,689百万円程度の増収、営業利益で707百万円程度の増益となっております。

【事業の種類別セグメントの概況】

(単位：百万円)

報告セグメント	外部顧客に対する売上高				セグメント利益(営業利益)			
	前第3四 半期累計	当第3四 半期累計	増減額	増減率	前第3四 半期累計	当第3四 半期累計	増減額	増減率
薬品事業	28,446	31,188	2,741	9.6%	7,391	8,667	1,276	17.3%
装置事業	11,131	12,233	1,101	9.9%	708	794	86	12.2%
加工事業	23,990	25,256	1,266	5.3%	4,896	4,873	△22	△0.5%
その他	2,464	2,679	214	8.7%	282	418	135	48.0%
調整額(消去)	—	—	—	—	△3,297	△3,288	8	—
連結損益計算書計上額	66,033	71,357	5,323	8.1%	9,981	11,465	1,484	14.9%

① 薬品事業

外部顧客に対する売上高は31,188百万円と前年同四半期に比べ2,741百万円(9.6%)の増収となり、営業利益は8,667百万円と1,276百万円(17.3%)の増益となりました。当事業部門は、金属などの表面に耐食性、耐摩耗性、潤滑性など機能性向上を目的とする化成皮膜を施し、素材の付加価値を高める薬剤などを中心に製造・販売しております。低調に推移しておりました国内売上高も自動車生産の回復に伴い増収となり、海外売上高は円安の影響により大きく増収となりました。また、収益面では、国内外の増収効果に加えて、インドの薬品事業が黒字に転換するなど堅調に推移しております。

② 装置事業

外部顧客に対する売上高は12,233百万円と前年同四半期に比べ1,101百万円(9.9%)の増収となり、営業利益は794百万円と86百万円(12.2%)の増益となりました。当事業部門は、輸送機器業界を中心に前処理設備及び塗装設備や粉体塗装設備などを製造・販売しております。中国、インドネシアなどの海外で、自動車メーカー向け前処理設備の需要が伸びており、好調の前年を上回り推移しております。また、現地調達強化などコスト削減効果もあり増益となりました。

③ 加工事業

外部顧客に対する売上高は25,256百万円と前年同四半期に比べ1,266百万円(5.3%)の増収になりましたが、営業利益は4,873百万円と△22百万円(△0.5%)の減益となりました。当事業部門は、熱処理加工、防錆加工、めっき処理などの表面処理の加工サービスを提供しております。国内の加工事業は、自動車生産の回復に伴い、徐々に改善してまいりましたが、依然としてユーザーの海外移転の流れが強く、厳しい状況で推移しております。また、海外でも低価格化の要求と他企業との競争から売上が伸び悩むとともに、ASEAN地域の労働コストの大幅な上昇から収益面も低調に推移しております。

④ その他

外部顧客に対する売上高は2,679百万円と前年同四半期に比べ214百万円(8.7%)の増収となり、営業利益は418百万円と135百万円(48.0%)の増益となりました。当事業部門は、ビルメンテナンス事業、不動産賃貸事業、リース事業、運送事業などを営んでおります。ビルメンテナンス事業が順調に推移するとともに、それぞれの事業が増益になるなど堅調に推移いたしました。

【投資情報】

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間	当第3四半期累計期間
減価償却費(有形固定資産)	2,377	2,488
設備投資額(有形固定資産)	2,325	3,784
研究開発費	1,576	1,586
有利子負債	5,815	5,105

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、前連結会計年度末と比較し 17,871 百万円増加し 164,610 百万円となりました。流動資産は 7,698 百万円増加し 84,760 百万円となりましたが、主な増減といたしましては、現金及び預金が 2,090 百万円、受取手形及び売掛金が 2,399 百万円、仕掛品(未成工事支出金等)などでたな卸資産が 3,120 百万円増加いたしました。固定資産は 10,173 百万円増加し 79,850 百万円となりましたが、主な増減といたしましては、有形固定資産が 3,375 百万円、投資その他の資産が 6,535 百万円増加いたしました。

負債合計は、前連結会計年度末と比較し 4,634 百万円増加し 50,637 百万円となりました。流動負債は 3,169 百万円増加し 34,620 百万円となりましたが、主な増減といたしましては、支払手形及び買掛金が 2,068 百万円、設備受注に関する前受金などで流動負債その他が 3,751 百万円増加いたしました。固定負債は 1,465 百万円増加し 16,016 百万円となりましたが、主な増減といたしましては、繰延税金負債などにより固定負債その他が 1,073 百万円増加いたしました。

少数株主持分を含めた**純資産合計**は、前連結会計年度末と比較し 13,236 百万円増加し 113,973 百万円となりました。主な増減といたしましては、利益剰余金の増加により株主資本が 6,175 百万円、その他有価証券評価差額金と為替換算調整勘定の増加により、その他の包括利益累計額が 4,681 百万円、少数株主持分が 2,378 百万円増加いたしました。

以上の結果、自己資本比率は 58.0%と前連結会計年度末と比較し 0.3%増加するとともに、1 株当たり純資産は 1,542 円 15 銭と 175 円 40 銭増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

(通期の見通し)

今後につきましては、円安の定着や景気回復策の効果などにより、国内経済は緩やかな回復傾向に進むと期待されます。しかしながら、国内、海外ともに先行きは不透明であり、景気は一進一退が続くものと思われ、金属表面改質の事業環境も厳しい状況が続くと見込まれます。

このような厳しい経済環境において当社グループでは、原点回帰をスローガンとして先進性と独創性に秀でた表面改質技術の開発を進めてまいります。拡大する海外市場での事業展開を強化するため、積極的に海外での設備投資と技術サービス体制の整備を進めるとともに、金属表面改質の新たな市場獲得に注力するなど、企業体質の強化と収益の向上に努めてまいります。

通期の見通しにつきましては、当第3四半期累計期間において再検討した結果、当初設定レートに比べ円安が進んだことと最近の業績の動向を踏まえ、平成 25 年 3 月期決算発表時(平成 25 年 5 月 14 日)に開示した業績予想を修正いたします。

【当期(平成 26 年 3 月期)の連結業績の見通し】

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	96,000	13,500	15,200	8,000	129 円 11 銭
今回修正予想 (B)	98,000	15,000	17,200	9,500	153 円 34 銭
増減額 (B-A)	2,000	1,500	2,000	1,500	24 円 23 銭
増減率	2.1%	11.1%	13.2%	18.8%	18.8%
前期実績 (平成 25 年 3 月期)	89,919	13,146	15,179	8,463	136 円 59 銭

[通期業績予想は、現時点の入手可能な情報に基づき判断したものであり、経済情勢の変化、市場の動向、為替レートの変動などにより乖離する可能性があります。]

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間において、パーカー表面処理技術(上海)有限公司を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	31,985	34,076
受取手形及び売掛金	28,148	30,548
有価証券	3,419	3,426
商品及び製品	1,732	1,928
仕掛品	3,748	6,584
原材料及び貯蔵品	3,907	3,996
その他	4,254	4,333
貸倒引当金	△134	△133
流動資産合計	77,062	84,760
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,184	12,868
土地	15,167	15,317
その他(純額)	9,859	12,399
有形固定資産合計	37,211	40,586
無形固定資産		
	2,469	2,732
投資その他の資産		
投資有価証券	20,114	24,597
その他	10,039	12,097
貸倒引当金	△157	△164
投資その他の資産合計	29,996	36,531
固定資産合計	69,677	79,850
資産合計	146,739	164,610
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,433	15,501
短期借入金	1,697	1,746
1年内返済予定の長期借入金	1,833	1,127
未払法人税等	2,659	1,715
賞与引当金	2,203	1,153
その他	9,624	13,375
流動負債合計	31,450	34,620
固定負債		
長期借入金	2,090	2,231
退職給付引当金	9,864	10,114
その他	2,597	3,670
固定負債合計	14,551	16,016
負債合計	46,002	50,637

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,560	4,560
資本剰余金	3,913	3,913
利益剰余金	78,073	84,263
自己株式	△3,625	△3,639
株主資本合計	82,921	89,097
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,531	6,972
繰延ヘッジ損益	3	3
為替換算調整勘定	△2,769	△529
その他の包括利益累計額合計	1,765	6,447
少数株主持分	16,050	18,429
純資産合計	100,737	113,973
負債純資産合計	146,739	164,610

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	66,033	71,357
売上原価	41,417	44,111
売上総利益	24,616	27,246
販売費及び一般管理費	14,634	15,780
営業利益	9,981	11,465
営業外収益		
受取利息	105	146
受取配当金	300	352
受取賃貸料	247	251
為替差益	—	313
持分法による投資利益	525	668
その他	436	380
営業外収益合計	1,616	2,113
営業外費用		
支払利息	60	51
為替差損	26	—
その他	154	169
営業外費用合計	241	220
経常利益	11,356	13,359
特別利益		
固定資産売却益	39	424
段階取得に係る差益	66	—
投資有価証券売却益	259	137
その他	—	1
特別利益合計	365	563
特別損失		
固定資産除却損	95	29
投資有価証券評価損	58	—
環境対策引当金繰入額	—	48
その他	2	1
特別損失合計	156	79
税金等調整前四半期純利益	11,565	13,843
法人税等	4,078	4,215
少数株主損益調整前四半期純利益	7,486	9,627
少数株主利益	1,081	1,768
四半期純利益	6,405	7,859

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,486	9,627
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28	2,480
繰延ヘッジ損益	42	—
為替換算調整勘定	80	2,461
持分法適用会社に対する持分相当額	△19	454
その他の包括利益合計	74	5,396
四半期包括利益	7,561	15,023
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,433	12,541
少数株主に係る四半期包括利益	1,128	2,482

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	28,446	11,131	23,990	63,569	2,464	66,033	—	66,033
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	975	159	5	1,140	955	2,095	△2,095	—
計	29,422	11,291	23,995	64,709	3,420	68,129	△2,095	66,033
セグメント利益	7,391	708	4,896	12,995	282	13,278	△3,297	9,981

- (注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、不動産賃貸事業、リース事業、運送事業などを含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△3,297百万円には、セグメント間取引消去204百万円、各報告セグメントに帰属しない全社費用△3,501百万円が含まれております。なお、全社費用は主に、一般管理費及び技術研究費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

第1四半期連結会計期間より、「薬品事業」セグメントにおいて、大韓パーカライジング株式会社の連結子会社化に伴い、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては745百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	31,188	12,233	25,256	68,678	2,679	71,357	—	71,357
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,065	270	96	1,431	978	2,410	△2,410	—
計	32,253	12,503	25,352	70,109	3,657	73,767	△2,410	71,357
セグメント利益	8,667	794	4,873	14,335	418	14,754	△3,288	11,465

- (注) 1. 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、不動産賃貸事業、リース事業、運送事業などを含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△3,288百万円には、セグメント間取引消去215百万円、各報告セグメントに帰属しない全社費用△3,503百万円が含まれております。なお、全社費用は主に、一般管理費及び技術研究費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 四半期毎の業績の推移 (連結)

平成26年3月期 (連結)

(単位: 百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	25年4月～25年6月	25年7月～25年9月	25年10月～25年12月	26年1月～26年3月	25年4月～26年3月
売上高	21,069	25,291	24,997		71,357
売上総利益	8,301	9,351	9,593		27,246
営業利益	3,177	4,037	4,250		11,465
経常利益	3,740	4,642	4,975		13,359
税金等調整前当期純利益	3,742	5,162	4,938		13,843
当期純利益	1,992	2,820	3,046		7,859
総資産	152,175	160,974	164,610		—
純資産	105,959	110,887	113,973		—

平成25年3月期 (連結)

(単位: 百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	24年4月～24年6月	24年7月～24年9月	24年10月～24年12月	25年1月～25年3月	24年4月～25年3月
売上高	20,956	23,445	21,631	23,885	89,919
売上総利益	8,153	8,258	8,203	8,184	32,800
営業利益	3,311	3,312	3,357	3,164	13,146
経常利益	3,768	3,648	3,939	3,823	15,179
税金等調整前当期純利益	3,790	3,581	4,193	3,795	15,361
当期純利益	2,065	1,897	2,443	2,058	8,463
総資産	136,176	138,233	139,847	146,739	—
純資産	89,643	90,135	93,488	100,737	—

平成24年3月期 (連結)

(単位: 百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	23年4月～23年6月	23年7月～23年9月	23年10月～23年12月	24年1月～24年3月	23年4月～24年3月
売上高	17,904	20,094	21,974	24,785	84,758
売上総利益	6,896	7,713	8,407	7,804	30,821
営業利益	2,253	2,810	3,626	2,720	11,411
経常利益	2,692	3,187	3,853	3,168	12,901
税金等調整前当期純利益	2,696	3,093	3,785	2,877	12,452
当期純利益	1,358	1,818	1,592	1,545	6,314
総資産	125,185	127,995	127,211	130,517	—
純資産	82,796	83,703	83,428	87,273	—

(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

報告セグメント		売上高				セグメント利益			
		前第3四 半期連結 累計期間	当第3四 半期連結 累計期間	増減額	増減率	前第3四 半期連結 累計期間	当第3四 半期連結 累計期間	増減額	増減率
薬品 事業	日本	19,971	20,265	293	1.5%	5,937	6,126	189	3.2%
	アジア	8,002	10,123	2,120	26.5%	1,147	1,994	846	73.8%
	欧米	472	800	327	69.3%	162	307	144	88.9%
	セグメント間 の内部売上高 又は振替高	975	1,065	89	9.2%	143	239	95	66.1%
	計	29,422	32,253	2,831	9.6%	7,391	8,667	1,276	17.3%
装置 事業	日本	6,599	6,957	357	5.4%	306	433	126	41.2%
	アジア	4,532	5,276	743	16.4%	306	226	△79	△26.1%
	欧米	—	—	—	—	—	—	—	—
	セグメント間 の内部売上高 又は振替高	159	270	110	69.3%	95	135	40	42.1%
	計	11,291	12,503	1,212	10.7%	708	794	86	12.2%
加工 事業	日本	16,543	16,148	△395	△2.4%	3,465	3,511	45	1.3%
	アジア	4,680	5,937	1,256	26.9%	849	906	57	6.8%
	欧米	2,766	3,170	404	14.6%	497	370	△127	△25.6%
	セグメント間 の内部売上高 又は振替高	5	96	90	—	84	85	1	1.6%
	計	23,995	25,352	1,357	5.7%	4,896	4,873	△22	△0.5%
報告セグメント計		64,709	70,109	5,400	8.3%	12,995	14,335	1,339	10.3%
その 他	日本	2,115	2,398	282	13.4%	253	338	85	33.7%
	アジア	349	281	△68	△19.5%	29	77	48	165.3%
	欧米	—	—	—	—	—	—	—	—
	セグメント間 の内部売上高 又は振替高	955	978	22	2.4%	0	2	2	—
	計	3,420	3,657	237	6.9%	282	418	135	48.0%
合計		68,129	73,767	5,638	8.3%	13,278	14,754	1,475	11.1%
調整額		△2,095	△2,410	△314	△15.0%	△3,297	△3,288	8	0.3%
連結損益計算書計上額		66,033	71,357	5,323	8.1%	9,981	11,465	1,484	14.9%

所在地別セグメント情報

(単位：百万円)

所在地	売上高				営業利益			
	前第3四 半期連結 累計期間	当第3四 半期連結 累計期間	増減額	増減率	前第3四 半期連結 累計期間	当第3四 半期連結 累計期間	増減額	増減率
日本	47,654	48,548	893	1.9%	10,171	10,578	406	4.0%
アジア	17,599	21,644	4,045	23.0%	2,144	3,015	870	40.6%
欧米	3,248	3,980	731	22.5%	660	678	17	2.6%
合計	68,502	74,173	5,671	8.3%	12,977	14,271	1,294	10.0%
調整額	△2,468	△2,816	△347	△14.1%	△2,995	△2,805	189	6.3%
連結損益計算書計上額	66,033	71,357	5,323	8.1%	9,981	11,465	1,484	14.9%

(3) 四半期毎の業績の推移 (提出会社個別)

平成26年3月期 (提出会社個別)

(単位: 百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	25年4月～25年6月	25年7月～25年9月	25年10月～25年12月	26年1月～26年3月	25年4月～26年3月
売上高	9,486	10,573	10,237		30,297
売上総利益	3,792	3,849	4,197		11,839
営業利益	1,263	1,290	1,590		4,144
経常利益	1,984	1,848	1,892		5,725
税金等調整前当期純利益	1,981	1,840	1,837		5,659
当期純利益	1,298	1,205	1,203		3,706
総資産	81,947	85,402	86,049		—
純資産	57,395	59,267	60,612		—

平成25年3月期 (提出会社個別)

(単位: 百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	24年4月～24年6月	24年7月～24年9月	24年10月～24年12月	25年1月～25年3月	24年4月～25年3月
売上高	10,098	10,219	9,577	9,212	39,107
売上総利益	4,108	3,816	3,840	3,635	15,401
営業利益	1,560	1,204	1,288	1,143	5,196
経常利益	2,102	2,119	1,610	2,176	8,008
税金等調整前当期純利益	2,041	2,117	1,852	1,946	7,958
当期純利益	1,336	1,385	1,215	1,497	5,435
総資産	72,881	75,697	77,177	80,937	—
純資産	50,755	51,859	53,362	56,353	—

平成24年3月期 (提出会社個別)

(単位: 百万円)

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	通算
	23年4月～23年6月	23年7月～23年9月	23年10月～23年12月	24年1月～24年3月	23年4月～24年3月
売上高	8,792	9,545	9,920	9,615	37,874
売上総利益	3,564	3,829	4,174	3,742	15,311
営業利益	1,033	1,263	1,607	1,072	4,977
経常利益	1,612	1,634	1,873	1,740	6,861
税金等調整前当期純利益	1,582	1,588	1,887	1,440	6,498
当期純利益	981	984	831	1,096	3,894
総資産	69,991	70,909	70,474	73,260	—
純資産	47,673	48,106	48,151	50,766	—